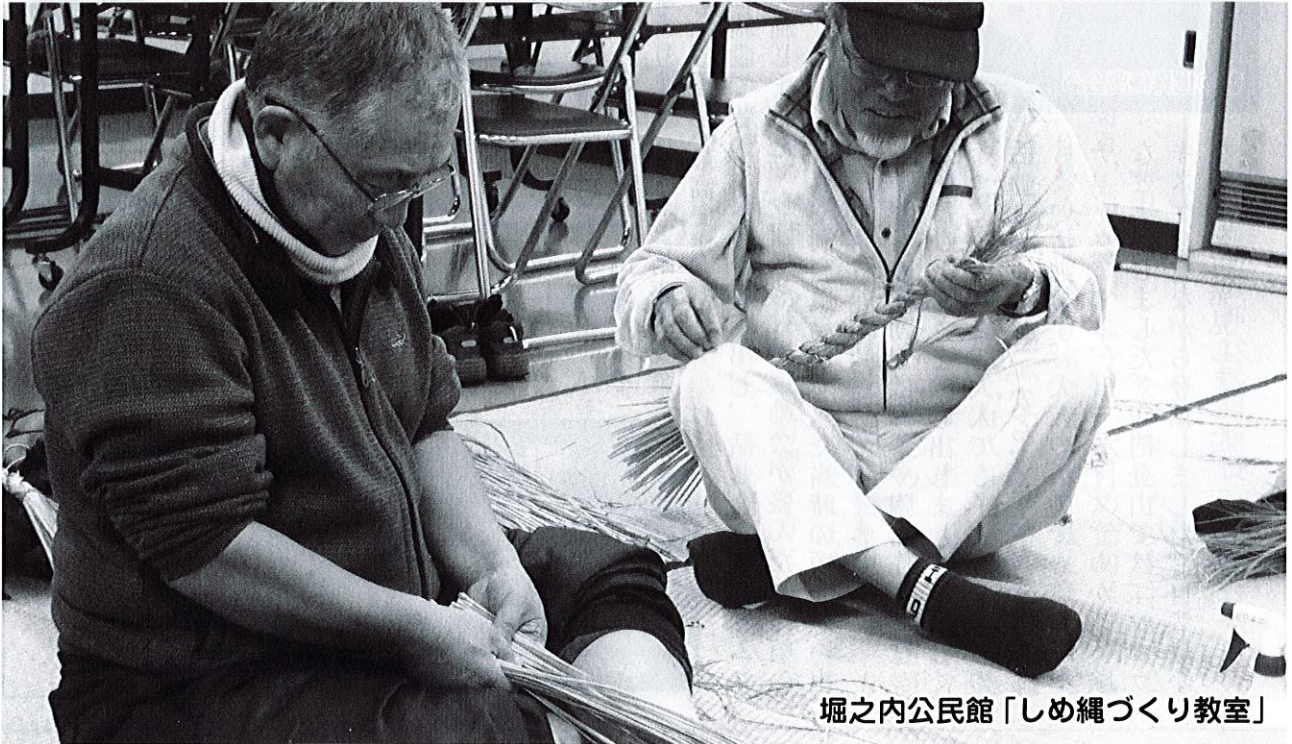


中央公民館だより



堀之内公民館「しめ縄づくり教室」

「歴史の道百選」の追加認定について

魚沼市生涯学習課 課長 大桃 明



市民の皆様、新年あけましておめでとうございます。

日頃は、市の生涯学習事業にご理解とご協力をいただき、感謝を申し上げます。また、昨年は熊の異常な出沒により、7人の方が負傷され、熊の目撃情報が増えました。このような状況から市民の皆様や参加者の皆様の安全を優先し、「コシヒカリ紅葉マラソン」や「地域文化祭」などの各イベントが中止になりましたことに対しましてご理解をお願いします。

さて、文化庁が令和元年10月29日、『歴史の道百選』の追加選定を発表しました。全国に点在する道のうち、歴史的な背景を踏まえ、魚沼市からは2街道が選ばれたことは、誠に喜ばしいことです。

○会津街道―六十里越 【新規】

名称：会津街道―六十里越
 選定箇所：穴沢、細野、大倉沢、三沢沢、金ヶ沢、下倉、田戸の7ヶ所
 「会津街道―六十里越」は、魚沼地方と奥会津地方を結ぶ街道で、中世には軍用道路として利用された。近世には「越後縮」の原料として奥会津で生産された青苧が六十里越を通って小出・堀之内に卸された。

○佐渡路―三国街道 【既選定に追加】

名称：佐渡路―三国街道
 選定箇所：栃原峠
 「佐渡路―三国街道」は日本海側と太平洋側を結ぶ主要な街道の一つで、江戸時代初期に開削され、魚野川を渡る必要がない最短の街道として整備された。

当市には、豪農の館「目黒邸」や「佐藤家住宅」をはじめ、日本のミケランジェロで有名な石川雲蝶作品がある「西福寺開山堂」や「永林寺」など数多くの地域の文化財があります。そのほかにも「原居平遺跡の火焔型土器」や「月岡遺跡出土遺物」なども指定されています。

文化財保護法の改正（平成31年4月1日施行）では、今までの文化財の保存からさらに一歩踏み込んだ文化財を活用することがうたわれています。

今後は、こうした地域の文化財を活用し、観光振興や地域活性化に向けた具体的な取り組みが必要であると思います。

入広瀬公民館

くかがやく自分を求めて

入広瀬公民館館長 穴沢 良一

入広瀬公民館では「出会い」「笑顔」「やってみる」を大事にしています。

高齢者講座では今年度は生活に役立つ催しを企画しました。ゴミの出し方、オレオレ詐欺の防止、交通安全、薬の知識などです。歴史講座では地域とのかかわりを見つめ直すことができました。これからは身近な場所を受講できるように、地域に出向く出前講座を企画します。まずは参加し、人と出会うことから始まります。出会えばそこには笑顔があります。そして講座を受講し何か得ることがあれば最高です。



地域の福祉施設で昔の出来事を思い出し、話し合う「タイムスリップ」を実施しました。今回は、村民運動会が盛んだった頃の写真や洞窟風呂ができた当時の頃を思い出し、語り合い、話に花が咲きました。子どもの活動ではお茶や陶器作りでほっとするひとときを醸し出しました。忙しくなっている今日、大人でも子どもでもこの活動は安心でき、安らぎをあたえるとてもよい活動です。大人の活動でも着付けやチョークアート、ピラティス、ぬか釜体験など実施しました。守門登山ではニッコウキスゲを見ながら登頂しました。自然豊かな地域を再発見しました。



魚沼の宝「ダム」を巡る

守門公民館館長 横山 治隆

今年度はダム巡りを中心に据え、ダムを6か所、発電所4か所を見学しました。

参加者はこのダム巡りを通し、魚沼市を再度見直したと思います。

一、歴史的見地から

黒又ダムは「世界に追い付け、追い越せ」という百年も昔の日本の頑張りで作られ、今なお現役で稼働しています。

しかも、目黒邸が建造時に関わっていたという話も聴き、目黒邸の妻さも肌で感じました。

二、雪の見方から

奥只見ダムを始め、この地域の水力発電所はすべて豪雪地域だからこそ成立しているという説明を聞きました。

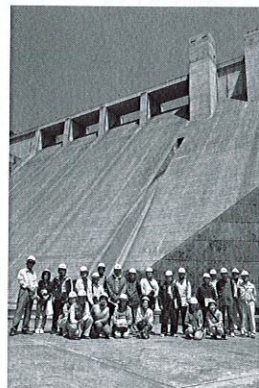
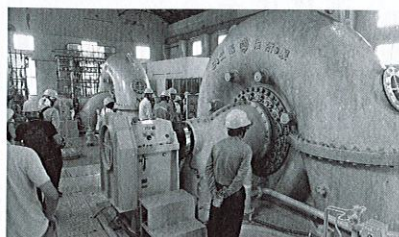
「白い石炭」とも言われる重要な雪資源をもう一度見直し、見方を変えました。

三、世相の見地から

わずか3年前に造られた最新鋭の第二葦原発電所は、東北大地震から立ち直るために、もう一度水力発電所をとという直近の出来事も実感できます。

四、科学的見地から

一旦完成し実働しているダム堰堤の中に新たに管を通したり、巨大な発電機の脇を掘り抜けもう一台発電機を増設したりする科学力を目の当りにしました。



つながる

前広神公民館館長 松田 光正

『秋事』、収穫の秋、採れた野菜や山の幸を持ち寄り、餅をつき、鯉を料理する。作る人、味見をする人、会場の支度をする人、それぞれが、自分にできることをやる。できた料理を肴に、酒をくみ交し、収穫を喜び、労を労う。

『だしえ』（だし合い?）、それぞれがいろいろなものを持ち寄って、お楽しみ会をやる。こんな言葉も、最近ほとんど聞かれなくなりましたが、何かなつかしく感じられます。

私達の地域では、毎年、秋に、もちつきをやっていきます。私達有志と子ども育成会、地元消防団とも協力し、餅をつき、お母さん方がつくったお汁やカレーなどにつけて食べる。一味違う餅を味わえます。参加は自由で、誰が来てもOKです。広く集落内にも呼びかけ、子ども達といっしょに、手づくりで楽しんでいきます。これは、秋の一日の一品ですが、続きがあります。この後、茅刈をし、春の百八灯の準備をします。私達の会では、地域にあった伝統(楽

しみ)を、少しでも受け継いでいこうと、六月の節句には『しようぶたたき』、秋には『もちつき』、そして、春、三月の彼岸には『百八灯』と、子ども達といっしょに楽しんでいきます。続けていくためには、自分達が楽しくなくては続きません。もちろん、その後には、自分達でつくった料理を肴に、反省会を兼ねて、一杯です。派手なこととはできませんが、続けていくことを念頭に置き、みんな楽しんでやっていたらいいなと思っています。

人と人がつながり、社会ができる。人と地域がつながる。また、横のつながりとともに、縦のつながりも大事にしていくべきです。



「秋の一日」

湯之谷公民館館長 桜井 忍

「おばあちゃん、随分とお元気ですね。健康の秘訣は何ですか?」「そうだの死ぬまで元気であることだて!」なんて会話をして耳にしたことがあります。先日、同級会の案内はがきを出したら、返事にこんなメッセージが「子どもたちも独立して、今は、夫と二人で大好きな旅行に出たり、趣味に没頭したりするのが一番の楽しみです」。

それぞれ楽しみ方が違ってても健康で毎日生活できることに感謝しています。

出勤時のイチヨウ並木。目線を変えただけで少しだけ洒落た気分です。何十年もここに住んでいるのに何気なく見過ごしている風景が身近にも沢山あるのに気づきました。

春夏秋冬。移りゆく季節と手つかずの大自然ほど素晴らしいものはないと思います。

今年、猛暑、酷暑の夏。台風により広範囲に及ぶ大雨被害



の発生。遠方の友人宅も被害を受けました。紅葉真っ盛りには「熊騒動」と予測のつかない自然相手に中止せざるを得ない講座もありましたが、ネイチャーガイドさんが案内する先々に名前も知らなかった植物や家の周りでは目にするのでできない愛らしい花たちに出会うことができました。今年度も「今しかない」季節感たっぷりな講座に沢山の皆さまからご参加いただき感謝申し上げます。



また、ギャラリーでも絵画や趣味の作品等ふだん目にすることのできない作品をご覧いただくこともできました。

これからも「地域の宝物」を多くの皆さんに知っていただくような講座を計画したいと思います。



ウエルカム♪伊米ヶ崎公民館♪

伊米ヶ崎公民館館長 鎌田 惣吉郎

伊米ヶ崎公民館は魚沼市の南部に位置し、伊米ヶ崎小学校を学区とするおおよそ540世帯が暮らす地域にあります。

当館の主な活動は大きく3つに分かれており、一、触れ合いの場、二、学習の場、三、育みの場として活動しております。以下、事業を紹介させていただきます。

一、触れ合いの場

例年、運動会、ソフトバレーボール大会、芸能祭と、子どもからお年寄りまで一堂に集まり、地域全体を取り込んだ笑いと触れ合いの場作りを展開しています。また、小学校との連携においては、小学生が地域から学ぶ昔からの遊び、お年寄りから学ぶサツマイモ栽培、地域のボランティアと共に育てる田植えからの稲作づくりの体験学習など、学校のカリキュラムに合わせた触れ合い事業をサポートしています。

二、学習の場

書道教室、舞踊教室、自然食を楽しむ会、ヨガ、太極拳、健康のサポート若トレ等、多彩なサーク

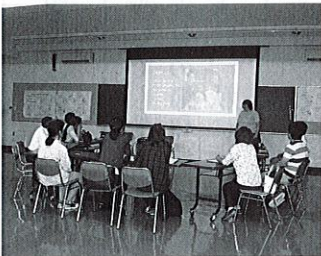
ル活動に場の提供を行い、伝統食や伝統工芸の講習会を開催して文化を伝承すべく努めています。

三、育みの場

公民館入口近くのギャラリーにおいて、地元の芸術家の皆様の作品展示をしています。絵画、写真、手芸、陶芸等々、小さな美術館の運営をしています。

また、新たな取り組みとして、英語を楽しむと題して、今年度から南魚沼市の国際大学に在籍する外国人を講師に招き、出身国の食事、文化、産業など日本語と英語で紹介していただき、生の英会話に触れる機会を設けました。

このような取り組みを次年度に向け順次計画していきたいと思えます。気軽に当館に訪れていただき、お茶を飲み見ながら語らう場としてご利用いただけたらと願っています。



納得！目からウロコの調理技術

小出・小出北部公民館館長 八海 昭夫

「和食・日本人の伝統的な食文化」は、平成二十五年にユネスコの無形文化遺産に登録されました。その和食の料理教室を通して、食生活を見直す機会を作り、減塩をして生活習慣病予防につなげるとともに、地産地消を推進しよう、との目的で「目からウロコの簡単和食」の講座を開催しています。

今年度のテーマは「美味しいおだしの取り方、発酵食品・地元野菜で簡単和食」です。講師は、京都出身の鳥影先生で、和食の基本

と京都のおばんざいを教えていただきました。



特にパッククッキングが好評で、まさに目からウロコが落ちる調理テクニックを伝授いただき、参加者一同びつくりでした。パッククッキングは、災害の時にこそ有効な調理技術で、お湯がありさえすればできます。その切り干し大根煮は、いざと言う時の食材として、大好評でした。

参加者からは、「和食のよさを今後も続けて教えてください。料理は思いやり。捨てるところが無い、と言われたことが印象的でした」「新しいだしの取り方を知って、自分でも今日からできると思いました」「全部使いきることができる！ことを学びました。教科書通りでなく、新しい角度からの切り込みができた」との感想が寄せられました。

これからも開催しますので、みなさんもぜひご参加ください。

視聴覚センターの紹介

～アナログからデジタルへ～

堀之内公民館 雪野 はるか

「魚沼市視聴覚センター」をご存知でしょうか？

ほとんどの方が「????」と頭に浮かんだかと思えます。(かく言う私もこの仕事に就くまでは、馴染みがありませんでした・・・)

せっかくの機会ですので、視聴覚センターについて少し紹介させていただきます。

視聴覚センターは堀之内公民館内にあります。公民館や図書室をご利用の方の中にはチラシと見たことがあるかもしれません。

業務内容は魚沼市の学校教育・社会教育等の団体向けに視聴覚機器や教材の貸出しを行っております。主なものとしては、プロジェクトター・スクリーン・ノートパソコン・デジタルビデオカメラ・スピーカー・マイク・DVDが利用されています。

町内会・子ども会・老人会などでも使っていただけですので、地域のイベントでDVD上映会などいかがでしょうか？大きなスク

リーンとDVDプロジェクトであれば大画面で映画館気分が味わえ、楽しんでいただけると思えます。DVDも小さいお子様向けからご年配の方向けのものまで幅広く取り揃えておりますので、いつでもご相談ください。

視聴覚センターでは、16mm映写機・16mmフィルム・OHP・VHSビデオも貸出しをしております。アナログからデジタルへの時代の変化と共に今では懐かしいこれらの機器も影をひそめていきます。

デジタルにはデジタルのアナログにはアナログの良さがあります。それを上手く融合し、皆様により良い活用方法を提案させていただきます。

今後とも、魚沼市の視聴覚教育・生涯学習のお手伝いができればと思っております。お気軽にお問い合わせください。



各公民館職員紹介

今年もよろしくお願ひします



広神公民館 主事 小島 由里子

昨年の四月から、広神公民館でお世話になっております。生まれも、今現在も魚沼市で過ごしておりますが、広神という地域とは、あまりご縁がありませんでした。公民館の仕事を通して、地域の皆様と交流をさせていただき、皆様の温かい人柄にふれ、また広神

あけまして初めまして



中央公民館 主事 横山 剛

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、すこやかに新春をお迎えのことと存じます。さて、私は昨年の四月に中央公民館に異動してきました新顔です。中央公民館だよりの発行間隔の都合上、新年と「初めまして」のご挨拶を一緒に行うこととなりました。そこで、自己紹介も兼ねて今年の抱負などを書きたいと思っております。私は趣味が多くありませんが、

興味のある事に対しては深く調べ、知ることの方が好きです。あくまで食指が動いたものに対してのみですが、知る、理解することが好きなのです。今年はこの長所(と自分では思っています)を活かし、公民館主事として皆様に多様な学習の機会を提供していくため励みたいと思っております。公民館講座等に多くの方から参加いただけるよう、また公民館が憩いの場となるよう努力してまいりますので、よろしくお願ひいたします。皆様と公民館でお会いできるのを楽しみにしています。



今年度は、鳩待峠から尾瀬ヶ原・尾瀬沼を縦走し、沼山峠から下りるコースでした。

初日、歩き始めは小雨でしたが、山ノ鼻ビジターセンターでは、可愛いイワツバメが私達を迎えてくれました。国有種のオゼヌマタイゲキも見ました。尾瀬ヶ原は、広大な湿原で別世界のような様子。木道に沿って咲いていた黄色いリュウキンカは花盛り。雨も止み、下ノ大堀川では白い水芭蕉の群落。後方には至仏山がそびえ立ち、



尾瀬を訪れた一人ひとりが、マナーを守り自然を守ることが大切だと思えました。翌日の尾瀬沼への道は、森林や湿原、沼もある変化に富んだ美しい景色です。水芭蕉や紫色のタテヤマリンドウの群落。尾瀬沼からは雄大な燧ヶ岳を眺め、尾瀬を守った平野家のお墓にも参ることができました。

今回は、ガイドさんとスタッフの方々のおかげで、尾瀬を何倍も楽しく歩くことができました。ありがとうございました。



参加者の声
(湯之谷地区)
「楽しい尾瀬縦走ハイキング」
星 悦子

「目からウロコの簡単和食」。そのネーミングに、日常的に料理をしているわけでもない男の自分でも大丈夫と信じ、手慣れたお母様方に囲まれつつも、野菜切りなど自分のできることは色々やらせてもらいました。恥ずかしながら「玉味噌」なんて、その言葉も知りませんでした。火が強すぎるとダメになってしまおうと言われ、その加減が心配でなりません。ほどなくいい感じの「玉味噌」ができあがり、褒められました。いくつになっても、褒められると嬉しいものです。自分で作ったその味は格別でした。

全五品、一連の調理が体験できたのはもちろん、何より講師の先生の話が奥深く、ありがたかったです。

参加者の声
(小出地区)
目からウロコの簡単和食に参加して
梅井 雅行

くさんの「へー」と「ほー」が生まれました。お味噌の酵母の話、京料理の話、ダシの話、ジュースの甘みの話、震災時の料理の話。「日本人で良かった」と思える話がたくさん。参加して良かったです。ありがとうございました。



表紙の目

表紙の写真は昨年の12月に堀之内公民館で行われた「しめ縄づくり教室」の様です。しめ縄は神様をまつるのにふさわしい神聖な場所であることを示す意味があるそうです。

新しい年が良い年になるよう心よりお祈り申し上げます。

編集兼発行人 魚沼市中央公民館長 森山 正昭

だんだんどーも

夏山シーズンが一段落した穂高へ行って来た。以前、上高地まで行ったことはあったが、大正池・河童橋付近を散策した程度。梓川の奥にそびえる穂高の峰々に足を運ぶのは今回が初めての経験だった。

還暦を過ぎ、体力的・気力面において不安もあったが、己を試してみる良い機会でもあったと捉えての山行でもあった。

「絶景」と評される、濁沢からの紅葉を鑑賞することは時期的に無理だったが、山に入ってから3日間は天候にも恵まれ、沢山のすばらしいご褒美と感動を頂いて来た。

3kmの岩稜を歩きながらの眺望は、そこに居る者だけに与えられた、とても贅沢で掛け替えのない時間であったと思う。

四季折々に表情を変える権現堂山や越後三山の山々を日々仰ぎつつ、元気で一年間を過ごせたことに感謝したい。

広神公民館長 山田 弘行